

## 【全体概要】

富山県では、WCS用稲の作付面積が拡大傾向にある中、主に「コシヒカリ」等の主食用米が作付けされているが、牛の飼料としての消化性や栄養価に課題があった。そこで、これまで県内で栽培実績の無かった高糖分・茎葉多収で耐倒伏性の高い稲WCS専用品種の栽培及び給与を実証し、WCS用稲の生産・給与技術の確立を図る。

また、飼料用米の品種や施肥方法等が異なる場合の栄養成分を調査し、適切な飼料給与に活用できる技術の確立を図る。

## 新品種・新技術等の概要

### ①稲WCS専用品種の栽培及び給与実証

#### ○実証品種

牛の飼料に適した高糖分・茎葉多収で耐倒伏性の高い稲WCS専用品種「つきすずか」

#### ○実証内容

- ・収穫時期・収穫方法・施肥方法の検証
- ・乳用牛への給与実証



稲WCS専用品種の収穫

### ②飼料用米の栄養成分の把握及び飼料給与への活用

- ・品種や施肥方法等が異なる場合の飼料用米の栄養成分を調査
- ・栄養成分に基づく適切な飼料給与に活用



ダンプベッセルによる堆肥の積替え

## 主な取組内容

### ①稲WCS専用品種の栽培及び給与実証

#### 【研修会・先進地視察】

- ・外部講師による品種特性と栽培方法の研修会(県内)と先進地視察(広島県)

#### 【栽培・給与実証】

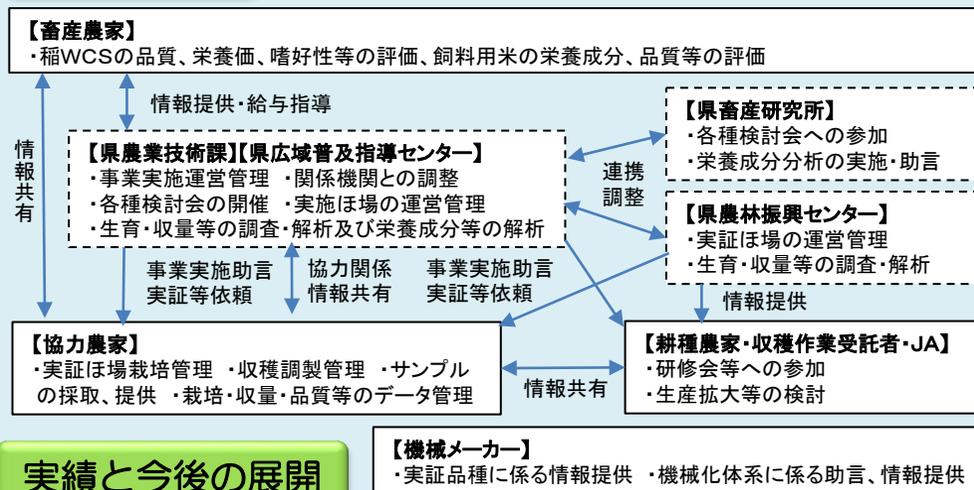
- ・富山市内8haのほ場で栽培実証。収穫方法・収穫時期・施肥の違いが飼料成分に及ぼす影響、乳用牛に給与した時の乳生産・血液性状に及ぼす影響を検証。

### ②飼料用米の栄養成分の把握

#### 【栄養成分の調査】

- ・耕種農家や農協、畜産農家から採取した飼料用米について、品種や堆肥・追肥等施肥方法の違いによる蛋白含量等を調査し、栄養成分を把握。

## 実施体制図



## 実績と今後の展開

### ①稲WCS専用品種

- ・収量やTDN含量が多く、嗜好性も良好であることが確認できた。
- ・栽培技術の普及や畜産農家の希望により、栽培面積が拡大した。  
8ha(R1)→8ha(R2)→11.5ha(R3)
- ・R4年度は、県内の収穫条件に合わせて、早生の新品種「つきはやか」の栽培にも取り組む予定である。

### ②飼料用米

- ・調査した飼料用米の栄養成分は、日本標準飼料成分表(2009年版)の成分値とほぼ同様であった。堆肥や追肥を施用した飼料用米(玄米)の蛋白含量は8%(乾物中)以上であった。
- ・今後は、これらの栄養成分に基づく適切な飼料給与に活用する。